



# 地域安全ニュース

## くらま

No.392  
発行所  
今治地区防犯協会  
今治警察署  
☎34-0110  
FAX 31-7001

### 連れ去りから子どもを守る!!



登下校の途中で「お母さんがケガをしたから病院に行こう」「お菓子を買ってあげるからついておいで」などと言い、犯罪者は親しげに子どもに近づいてきます。

誘拐や連れ去りの多くが子どもが一人である時に発生しており、時間帯も小・中学生の場合15時～18時に多発しています。

日頃から子どもに身の回りの危険について話をし、防犯対策を身につけさせましょう。

### 子どもを守る5つの約束



- イ** 行かない (知らない人にはついていかない)
- の** 乗らない (知らない車に乗らない)
- お** 大声で叫ぶ (大きな声で助けを呼ぶ)
- す** すぐ逃げる (すぐ逃げる)
- し** 知らせる (大人の人にすぐ知らせる)

### 行楽期の地域安全運動

期間:平成21年4月27日(月)～5月6日(水)

警察では、防犯協会・関係機関・団体や地域の防犯ボランティアの皆さんと一体となって、年間の刑法犯認知件数を17,000件未満に抑え、安全で安心して暮らせる社会をつくるため、行楽期の地域安全運動を実施します。

### スローガン ～防ごう犯罪 守ろう愛媛～

### 乗り物盗



昨年中、県内で毎日約11台の自転車・オートバイ・自動車盗難被害に遭っています。

- ◇ 短時間の駐車(駐輪)でも、必ずカギをかける(ツーロック)
- ◇ 自転車やバイクを購入した際は、防犯登録を行う



### 空守巢

- ◇ 防犯フィルムを貼ったり、防犯ガラスに交換する
- ◇ 補助錠をつける
- ◇ 庭木を手入れし、見通しを良くする
- ◇ センサー付ライトや防犯カメラを設置する

### 振り込め詐欺



- ◇ 一人で振り込まず、本人や関係機関に連絡を取る
- ◇ 「怪しいな」と思ったら、すぐに振り込まず、必ず家族や警察に相談する

## 育てよう 非行を止める その心



平成20年中の今治署管内の少年刑法犯の検挙・補導人員は198人(前年比-28人)です。中でも、万引きは74人で全体の37.4%を占めています。

不良行為少年の補導人員は760人(前年比-84人)で、そのうち喫煙、深夜はいかいでの補導が646人で全体の85.0%を占めています。

### 非行をさせない環境づくり

昨年、少年が盗んだ自転車のうち、約8割が未施錠の自転車でした。

「施錠をする」という簡単な行為で非行を未然に防ぐことができます。駐輪する場合には必ずカギをかけましょう。

### 不良行為の防止が「非行防止の鍵」

喫煙・深夜はいかいなどの不良行為を「これくらいなら良いか」と見逃していませんか。不良行為は、子どものSOSです。子どもの声に真剣に耳を傾け、しっかりと子どもと向き合しましょう。

### 子どもを守り、育てるには地域の力が必要

毎日のあいさつや声かけ、通勤や買い物ついでに防犯パトロールなど、自分たちができることから始めましょう。



## テロに対する警戒警備にご協力を!!

警察では、テロの未然防止のため、海空港、鉄道等の公共機関や多くの人が集まる場所等に対する警戒を行っています。

不審な人や車、荷物等を見かけた時は、110番又はお近くの警察署、空港、駅係員、警備員等にお知らせください。



## テロリストの発見にご協力を!!

海外のテロ事件においては、テロリストは必ず事前に現場の下見をしたり、爆弾の原料となる薬品を購入したりするなどの準備活動を行っており、このようなテロの兆候を察知することが非常に重要となります。

日本国内でテロを起こさせないため、不審な人や車、荷物などを発見した時は、110番又はお近くの警察署、交番、駐在所にお知らせ下さい。



## こころの芽

被害少年サポーター  
日浅 正恵

### 『しつけの窓口』は両親に一本化

母親にしかられて子どもが泣いています。母親のしかり方は理不尽。可哀そうですぐにそばへ行ってやりたい。でも、そこでおばあちゃんが出ていたら、子どもは混乱してしまいます。その場は母親に任せ、言いたいことは、後で子どもがいない時に話し合うのがいいと思います。「しつけの窓口」は、子育ての責任者である両親に一本化するのが大切です。

祖父母は、自分の子育て経験に自信を持って孫の成長を見守り、子育ての相談相手として両親の支えとなり、そこから生まれてくる心の安定感が子育てに生きてくると思います。